



ふるさとに誇りを持てる人材を 教育実践研究会

雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスで2月7日、第11回栗山町教育実践研究会が行われ、町内外の教育関係者など約60人が参加しました。町教育委員会の田中雅志指導主事が「ふるさとキャリア教育」について、継立小学校6年生の大野仁聖さんと齊藤結奈さんが「稲作体験学習」についてそれぞれ発表。また、秋田県大館市教育委員会高橋善之教育長の講演がありました。



全道の舞台で大健闘 北海道子どもかるた大会

第23回北海道子どもかるた大会が2月16日、札幌市で行われました。各管内の代表が全道の頂点を目指し、各コートで熱戦を展開。栗山町からは空知地区の代表として3チームが出場し、小学生チーム「大紫の昇龍」はベスト8、中学生チーム「大紫の天翔」は敢闘賞（4位）、「大紫の飛天」はベスト16と優秀な成績を収めました。



「笑い」で若さと健康づくり 笑いヨガ講座

笑いに着目した健康づくり「笑いヨガ講座」が1月30日、カルチャープラザ「Eki」で開かれ、参加者22人が大きな声で笑いながら体操やゲームを行いました。講師の松川敦子さんは「健康や若さなど、笑いは全てのもとになる。食事や家事の合間にも笑顔を絶やさないでほしい」と話し、参加者は「大きな声を出して笑うことで体が軽くなった」と話していました。



全国大会出場を報告 空知FCガールズ町長を表敬訪問

南空知のサッカーチームに所属する女子小学生でつくる「空知FCガールズ」が、滋賀県で行われる「第9回びわ湖カップなでしこサッカー大会」への出場を決め、栗山小学校6年生の選手6人が1月29日、佐々木学町長を表敬訪問しました。佐々木町長は「栗山町からも、女子日本代表のなでしこジャパンで活躍する選手が生まれることを願っています」と話していました。



手作りチョコを家族や友人へ いきいき交流プラザバレンタイン

いきいき交流プラザ「サンタの笑顔」で2月13日、バレンタインのチョコ作りが行われ、10人が参加しました。賑やかでとても楽しい雰囲気の中、参加者はチョコを型に流し入れ、飾り付けていました。きれいにラッピングされたチョコは、家族や友人へのプレゼントとして持ち帰りました。参加者は「お菓子作りは初めて。きれいに作れたので良かった」と話していました。



AEDと心肺蘇生法を学ぶ「いのちの教室」 道民カレッジ連携講座

道民カレッジ連携講座が、2月15日、スポーツセンターで開催され、アスリートセーブジャパン事務局長の山口幸伸さんによる「いのちの教室」と題したAEDの取り扱いなどの講演が行われました。山口さんは「AEDは日本に約73万台導入され設置率は世界一ですが、AEDの実施率は4.8%と低いので、心肺蘇生に関心を持つ取り組みをしています」と話していました。



町長へ報告書を提出 栗山赤十字病院改築等検討委員会

栗山赤十字病院改築等検討委員会が1月30日、検討結果報告書を佐々木学町長に提出しました。報告書では、町の病院環境整備についての提言がまとめられています。北輝男会長は「健康的なまちづくりのため、前向きに取り組んでほしい」と話し、佐々木町長は「地域医療の環境は大きな転換期を迎えている。報告書をもとに適切な環境整備を行いたい」と話していました。



もちつきで外国人と交流 国際交流センターもちつき大会

日本の伝統文化「もちつき」で国際交流を深める「新年もちつき交流会」が2月1日、まちの駅「栗夢プラザ」で行われ、町内外のALTや技能実習生など約80人が参加し、交代でもちつきを行いました。主催の松原町国際交流センター副会長は「もちつきは、福と（人）徳を神様をお願いする縁起の良い行事。楽しんで、たくさんもちを食べてください」とあいさつしました。

